

夏のリコチャレ2021

～理工系のお仕事体感しよう！～

概要説明



内閣府 男女共同参画局
文部科学省 総合政策教育局

Agenda

1. 夏のリコチャレ概要、2021実施スケジュール
(内閣府より)
2. 文部科学省の取組等

Agenda

1. 夏のリコチャレ概要、2021実施スケジュール
(内閣府より)
2. 文部科学省の取組等

理工チャレンジ (リコチャレ!) ~女子生徒等の理工系への進路選択を促進~



現状

- ・大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合: 理学系 27.8 % 工学系 15.7 % (文部科学省「令和2年度学校基本調査」)
- ・研究者の採用に占める女性の割合(自然科学系): 理学系 17.2 % 工学系 11.0 % (文部科学省調べ 令和2年)

科学技術・学術は持続可能な発展のための基盤であり、**多様な視点や発想**を取り入れていくことが必要です。

そのためには女性研究者・技術者がその能力を最大限に発揮できるような環境を整備することが求められます。

科学技術系の進路への**興味関心や理解を向上**させるための取組を推進し、次代を担う**女性の科学技術人材**を育成します。

(第5次男女共同参画基本計画より抜粋・加筆)

取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業・学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和元年実績 100団体179イベント実施
約36,000名が参加

理工系女子 応援ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

募集

リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する
大学・企業・学術団体等 **807** 団体
令和3年1月現在

理工系女子 応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な
支援を行っている団体 **198** 団体
令和3年1月現在

ウェブサイト 「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者(ロールモデル)による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性(ロールモデル)提示等



「STEM Girls Ambassadors」によるロールモデルの紹介 調査研究

地域における理工系女性人材育成事業の効果的な実施方法に関する調査研究(令和元年度)

夏のリコチャレ2019 開催報告

100団体が参加し、179イベントが全国で開催されました
延べ約36,000人の女子児童、生徒、学生等が参加しました

■主なイベント内容

<企業>

- ・職場見学、現場見学、工場見学
- ・職業体験、ワークショップ、実験
- ・先輩女性社員との交流 等

<大学等>

- ・オープンキャンパス
- ・サマースクール、サイエンスキャンプ
- ・シンポジウム 等

<学術団体、その他>

- ・実験教室、体験学習、サマースクール
- ・職場見学、現場見学
- ・シンポジウム 等

■イベント実施団体数

企業	大学等	学術団体	その他
49	29	5	17

■開催団体別イベント数

企業	大学等	学術団体	その他
68	65	15	30

■開催地域別イベント数

北海道 / 東北	関東	中部	近畿	中国 / 四国	九州
10	102	18	21	8	20

(備考) 夏のリコチャレ2019イベント登録情報及びアンケートにより、令和元年10月内閣府集計

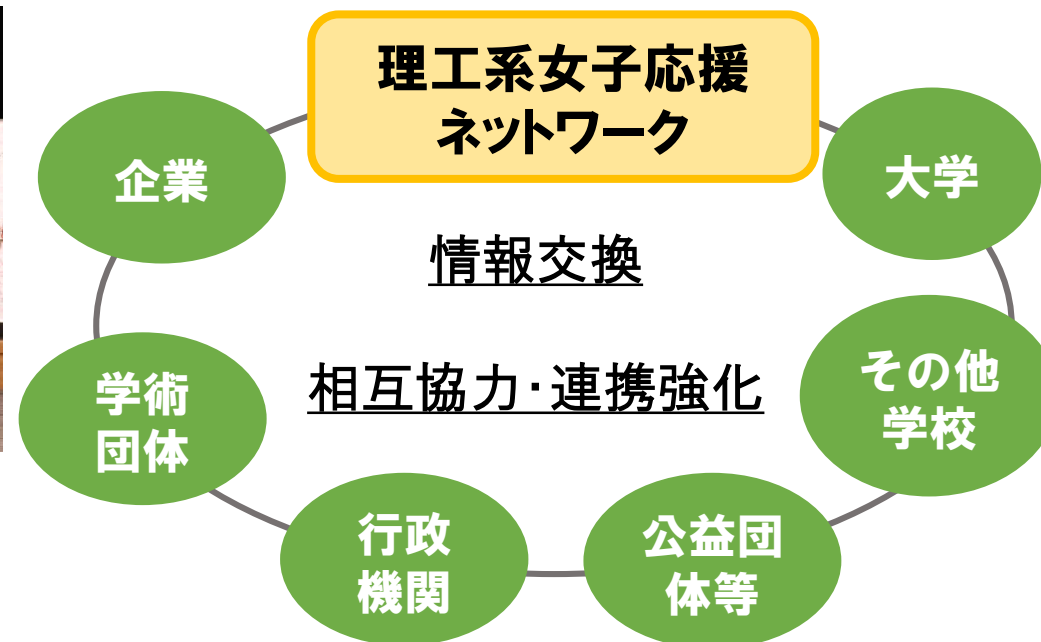


理工系分野における女性の活躍推進

理工系女子応援ネットワーク会議



- ・R元年度は37団体・40名が出席
- ・事例紹介、取組情報交換、団体間ネットワーキング等、今後に向けた連携強化



オンラインシンポジウムの開催

- ・「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2020」
- ・内閣府・文部科学省・JSTの共催でR2.8.3よりサイト公開
- ・女子中高生、保護者、教員向けに理工系で活躍するロールモデルからのメッセージ動画を配信



理解促進に向けた動画

- ・ロールモデルとなる女性社会人のインタビュー動画
- ・理系進路選択への関心を高めるストーリー動画
- ・理工チャレンジWebサイト、シンポジウム等で活用



夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！①

【 概 要 】

名称：夏のリコチャレ2021～理工系のお仕事体感しよう！～

主催：経団連、内閣府、文部科学省

日時：2021年夏休み期間(7月中旬～8月末)

場所：**オンライン開催 もしくは
大学、各団体の事業所、研究所、見学施設等**（十分な感染症対策を講じること）

対象：一般公開

※ 原則、女子小中高生を対象としますが、大学生、また男子も対象としていただくことも可能とします。親子参加イベントや保護者同伴の有無なども、各団体の裁量にて決定いただきます。

内容：職場見学、仕事体験、実験、社員との交流会等

※ 女性職員による対応や、女性職員の活躍の紹介など、「理工チャレンジ」を意識した内容にさせていただくことを希望します。

※ 大学生を対象としたインターンシップなど採用活動に繋がる、又は混同しやすいイベントは対象外とします。

※ 大学のオープンキャンパスでは、女子生徒向けブース設置など、何らかの追加取組が必要です。（一般向けのためのオープンキャンパスは対象外）



夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！②

【イベント開催要領】

- 各団体においてイベントの企画・運営をお願いします。
- 内閣府が運営する「理工チャレンジ（リコチャレ）」サイトにリンクを貼りますので、イベント案内用ウェブサイトを必ずご準備ください。
- イベントの準備が整いましたら、内閣府の専用サイトからイベントを登録してください。
- 登録情報を基に、文部科学省は関係する教育委員会等にイベントが開催される地域及び周辺域内の学校へ周知するよう依頼します。
- 経団連、内閣府、文部科学省は、各記者クラブ等を通じて、夏のリコチャレ全般に関する広報活動を実施します。

【イベント開催に当たりご留意いただきたいこと】

- ※ 実開催の場合は、イベントの内容等に応じた感染防止対策を徹底し、3密（密閉・密集・密接）の防止、手指消毒、検温、適切な換気を行うなどの対策を講じた上で各団体の責任において開催してください。また、感染状況に応じて、イベントの中止・延期や手法の変更等、柔軟なご対応へのご協力をお願いします。
- ※ 実施されるイベントに関する問合せ対応、参加申込受付、各種広報、当日の運営、費用負担等は、各団体にてお願いします。

夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！③

【スケジュール】

日付	予定
3月上旬	企業等向け説明会（オンライン）
3月22日（月）	イベント登録受付開始
5月10日（月）	イベント登録一次〆切 ※ 一次〆切までにご登録いただいたイベントを、サイトオープン時に掲載 ※ 〆切後にいただいた情報も順次サイトに掲載
5月下旬	「夏のリコチャレ2021～理工系のお仕事体感しよう！～」サイトオープン ※ 新型コロナウイルス発生前は例年5月下旬にオープン
6月～	以降、毎週月曜日までの登録分を翌週月曜日にサイト掲載
6月上旬～中旬	文科省より教育委員会や大学等への周知開始
7月中旬～8月	内閣府、文科省、JST主催シンポジウムにて周知 企業等によるイベント実施



(ご参考)リコチャレツールのご紹介

<リコちゃんパネル>



- ・ 内閣府よりイメージキャラクター「リコちゃん」パネル（黄、青、ピンクの3種類）を、イベント用に貸出します。
- ・ 3日間程度の貸出が可能。送料は各団体負担。

<動画>



- ・ ロールモデルとなる女性社会人のインタビュー動画
- ・ 理系進路選択への関心を高めるストーリー動画
- ・ 理工チャレンジWebサイト、シンポジウム等で活用
- ・ 内閣府よりリコチャレ関連動画を、イベント用に貸出します。（DVDまたはブルーレイ）送料は各団体負担。

数に限りがございますので、ご入用の場合は、内閣府までお問合せください

夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！④

【イベントまでの流れ】

	企業	経団連	内閣府	文部科学省
3月～	イベントの企画 ↓ イベントの登録		説明会を開催	
			イベントの受付	
5/10(月) イベント登録 一次締切 ※以降毎週月曜日に締切、翌週月曜日掲載				
5月下旬	↓ 集客・広報 リコちゃんパネル 貸出要請	広報	一次締切受付分 をサイト公開 広報 リコちゃんパネル 貸出窓口	教育委員会等へ の事務連絡 広報
7月～	イベント実施			



夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！⑤

【イベント登録の方法】 <http://www.gender.go.jp/c-challenge/event/index.html>

[内閣府ホーム](#) > [内閣府男女共同参画局ホーム](#) > [主な政策](#) > [女性の活躍促進](#) > [理工チャレンジ（リコチャレ）](#) > [リコチャレイベント情報](#)

理工チャレンジ

①

女子中高生・女子学生の理工系分野への選択



リコチャレとは？
What's Riko-challe?



リコチャレ
イベント情報
event information



先輩からの
メッセージ
message



「リコチャレ応援団体」
「理工系女子応援
ネットワーク」の紹介
support group



「リコチャレ応援団体」
「理工系女子応援
ネットワーク」への参加
for university
and corporation



STEM Girls Ambassadors
(理工系女子応援大使)
ご案内
STEM Girls Ambassadors



event information

リコチャレイベント情報

「理工系って何だろう？」見て、聞いて、体験しよう！
リコチャレのイベント情報や、過去のイベントレポートをお知らせします。

▶ [過去のイベント情報一覧へ](#) ▶ [イベント登録はこちら](#) ▶ [「夏のリコチャレ2021」イベント登録はこちら](#)

リコチャレ応援イベント 2017年度

カレンダーから探す

カレンダーの日付をクリックすると、イベントの詳細をご覧になれます。

3/22受付開始

②

夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！⑥

申請種別 修正の場合、修正箇所を備考欄に記載ください。 ☐ 新規登録 ☐ 修正申請 ☐ 必須	
団体種別 ☐ 必須	-- 選択してください -- ▼
団体名（サイト掲載名） （※「株式会社」「独立行政法人」「（株）」「（独）」「（公社）」「（一社）」などは省略してください。） ☐ 必須	残り文字数50
団体名（フリガナ） ☐ 必須	残り文字数100
イベント名 （※ 英数文字は半角でご入力ください。） ☐ 必須	残り文字数100
開催地（1） （都道府県） ☐ 必須	-- 選択してください -- ▼
開催地域（2） （市区町村） 市町村名が連続する場合は、最初の 市町村名のみ をご入力してください （※ 例：横浜市西区→「横浜市」） ☐ 必須	残り文字数30
イベントカテゴリ（複数選択可） ☐ 職業体験 ☐ 職場・現場見学 ☐ 交流会・相談会 ☐ 実習教室 ☐ シンポジウム・講演 ☐ オープンキャンパス ☐ 展示 ☐ 合宿形式 ☐ その他 ☐ 必須	

夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！⑦

対象者年齢 (※ 当てはまるものを全て選択) ※必須	☐ 未就学 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ 大学生・大学院生 ☐ 専門学生 ☐ 保護者 ☐ 教職員 ☐ その他の学生
対象者性別 ※必須	☐ 女性限定 ☐ 女性限定（保護者等、同伴者は男性・女性どちらでも可） ☐ 男性・女性どちらでも可
日程（1） (※ 例：8/1) ※必須	残り文字数5
日程（2） (※ 例：8/1)	残り文字数5
日程（3） (※ 例：8/1) (※ 日程が長期の場合は備考欄にご入力ください。)	残り文字数5
日程備考	残り文字数400
イベント申込締切 ※必須	-- 選択してください --
イベント申込締切が「日程あり」の場合、日にちを入力ください。 (※ 例：8/1)	残り文字数5
イベント紹介URL ※必須	残り文字数200
マスコミ取材可否 (※ 可を選ばれた場合は、貴団体のウェブサイトにマスコミからの問合せ窓口（連絡先）を記載してください。) ※必須	☐ 可 ☐ 不可

夏のリコチャレ2021 理工系のお仕事体感しよう！⑧

ご担当者様情報（※サイトには公開いたしません）

団体名

（※ 正式名称をご入力ください。）

※必須

残り文字数200

部署名

※必須

残り文字数200

ご担当者名

※必須

残り文字数50

電話番号

※必須

残り文字数13

Eメールアドレス

※必須

残り文字数200

備考

残り文字数1000



入力内容を
パソコンに保存する

内容確認画面へ進む >

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

夏のリコチャレ2019で実施した告知内容

■ポスター/リーフレットの主な配布先

- ・ イベント実施都道府県の教育委員会
- ・ イベント実施都道府県の私立学校主管課
- ・ スーパーサイエンスハイスクール対象校
- ・ 科学技術振興機構
- ・ 経団連会員企業
- ・ 経団連会員の予備校
(東進ハイスクール、駿台、四谷大塚)
- ・ 都道府県男女共同参画センター
- ・ 市町村男女共同参画センター
- ・ 要望のあったイベント実施企業
- ・ 女子中高生向けシンポジウムで周知
(6/8 参加者184名)

■その他の周知

- ・ Yahoo!バナー広告 (7/22~7/28)
- ・ 経団連、文科省、内閣府
記者クラブへの貼り出し(6/25)
- ・ 官邸LINE、メルマガ (6/17)
- ・ 内閣府Twitter、Facebook (7/11)
- ・ 男女局HP トップページ掲載 (7~8月)
- ・ 男女局Facebook
(6/30予告、
8/7報告、8/9、8/13報告、9/5報告)
- ・ 男女局メルマガ
(6/28号、7/12号、7/26号、8/9、8/23号)
- ・ 男女局広報誌「共同参画」
(7月号、9月号、10月号)
- ・ 文科省初中教育ニュース (7/12)
- ・ 文科省マナビィ・メルマガ (7/8)
- ・ その他関係団体メルマガ



Agenda

1. 夏のリコチャレ概要、2021実施スケジュール
(内閣府より)
2. 文部科学省の取組等

夏のリコチャレ2021 周知スケジュールについて

○各都道府県教育委員会に対して、文部科学省・内閣府の連名にて、各都道府県別の「イベント内容」「団体」「日付」「対象」等をリーフレットとともに周知し、教育委員会担当課の協力を呼びかけ。

平成26年度のイメージ

事務連絡
平成30年6月13日

<2021年度の周知スケジュール予定>

5月下旬～6月上旬 事務連絡発出
リーフレット配布

内閣府を通じて各企業等に対し、
事務連絡を発出した旨、フィードバック

各都府県教育委員会担当課 御中

内閣府男女共同参画局推進課
文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課

「夏のリコチャレ 2018～理工系のお仕事を体感しよう！～」
周知への御協力について（依頼）

平素より、男女共同参画社会づくりに向けた施策の推進に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

理系女性人材の育成は、G7 タオルミーナ・サミットに続き G7 シャルルボワ・サミットにおいても取り上げられるなど、各国共通の課題として認識されております。そうした中、内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会（以下：経団連）は、女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援するため、2018 年 7 月より夏休み期間を利用して「夏のリコチャレ 2018～理工系のお仕事を体感しよう！～」を開催いたします。

本イベントは、内閣府・文部科学省・経団連が連携し、経団連加盟企業や大学などが主に女子中高生などを対象に実施する、理工系の職場見学、仕事体験、施設見学など多彩なイベントの開催情報を、内閣府「理工チャレンジ（リコチャレ）」サイトを通じて積極的に社会へ発信する取組で、2015 年より実施しています。昨年は 186 イベントに約 23,000 名の生徒等が参加しており、今年も全国各地で様々なイベントが開催されます。

「土曜学習応援団」に御賛同いただいている企業等は、教育プログラムを文科省が運営するホームページで周知することも可能です（詳細は、文部科学省の担当までお問合せください）。

土曜学習応援団について

～企業・団体等による出前授業等を見つけるためのプラットフォーム～

平日可能な
出前授業も
多数！

文部科学省では、平成26年4月より、子供の豊かな学びを支えるために、
多様な企業・団体・大学等に「土曜学習応援団」に御賛同（御参画）いただき、
平日の授業や放課後、土曜日、日曜日、夏休み、冬休み等の教育活動に、
出前授業等により参画していただくことで、**特色・魅力のある教育活動**を推進。（令和2年12月段階で812団体が賛同）

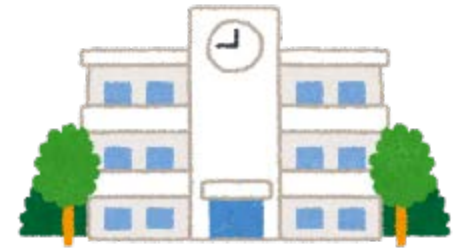


土曜学習応援団に賛同した
企業・団体・大学等

- * 高校生、中学生、小学生、幼稚園児等を対象
- * 平日の授業や放課後、土曜日、夏休み等に実施

出前授業・施設見学等

★実社会での経験に基づく多様な教育プログラム★
キャリア教育、プログラミング、
理科実験、ものづくり、環境教育、
社会課題解決 等



学校・地域の団体等

教育プログラムを
探すには・・・

学校の授業では
体験できないことを
学べた！

将来の職業やキャリアを
考える上で参考となった！

社会や企業における
課題を考えることが
できた！

土曜学習応援団WEB

- * 「地域と学校でつくる学びの未来HP」の中の
「企業等による教育プログラム」で紹介・検索が可能
- <https://manabi-mirai.mext.go.jp/index.html>



☀ 出前授業では例えばこのようなことができます！

<化学>



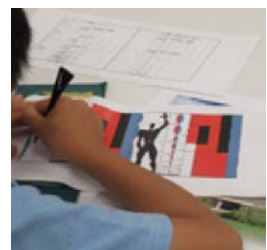
研究用の本物の機械・器具を
使用して薬の成分の抽出

<IT>



プログラミング開発授業

<建設>



スマホとモジュロールを
活用して建築の寸法を決定

学校と地域でつくる学びの未来ホームページ（土曜学習応援団に関するWEBサイト）



- ・ テーマ・学年等で検索可能
- ・ 各プログラムの概要・進行・写真を掲載

多様なプログラムを
掲載！！

HPのトップ頁にて写真入りで掲載

企業等による教育プログラム

New 運動神経の土台をつくる体軸スクール テーマ 生活習慣 教科 小学校生活 主催 株式会社やまちゃん	New わたしのライフデザインと支え合う暮らし テーマ 職業教育・キャリア教育 教科 中学校社会 主催 日本生命保険相互会社	New 大阪で活躍した企業家たちに学ぼう！～学校向け団体見学～ テーマ 職業教育・キャリア教育 教科 小学校社会 主催 大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム	New 初めてのアクティブラーニング「ソーシャルチェンジ・ファースト！」【教材提供】 テーマ 知財創造教育 教科 小学校社会 主催 株式会社教育と探求社
--	--	---	--

< I T >



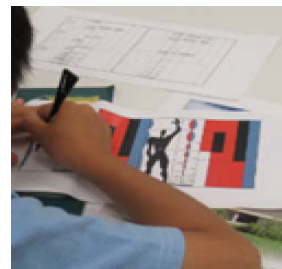
プログラミング開発授業

<化学>



研究用の本物の機械・器具を使用して薬の成分の抽出

<建設>



スマホとモジュロールを活用して建築の寸法を決定

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/> もしくは“学びの未来”で検索



女子中高生の理系進路選択支援

趣旨

女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切な理系進路の選択を可能にするため、大学や民間企業等の女性研究者・技術者をはじめとした科学技術分野を背景に持った社会人や理系分野で学ぶ大学生等と女子中高生の交流機会の提供や実験教室・出前授業の実施等、地域や企業等と連携した取組などを実施する大学等を支援する。



H31年度(R元年度)採択:5機関

旭川工業高等専門学校、秋田大学、米子工業高等専門学校、有明工業高等専門学校、北九州市立大学

R2年度採択:12機関

八戸工業高等専門学校、山形大学、小山工業高等専門学校、山梨大学、新潟大学、滋賀県立大学、京都光華女子大学、武庫川女子大学、久留米工業高等専門学校、佐賀大学、長崎大学、琉球大学

支援金額:150~300万円/機関・年
支援期間:2年間

令和3年度新規機関の募集
1月19日~2月26日(正午)

背景・課題

- 女性が科学技術分野に進む上で将来像が描きにくい。
- 自然科学系の学部・大学院に占める女性の割合は、人文・社会科学に比べて低い。
- 多用な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化させるためには、女性の活躍が不可欠。

「第5期科学技術基本計画」(抄)(平成28年1月22日 閣議決定)

- ・国は、次代を担う女性が科学技術イノベーションに関連して将来活躍できるよう、女子中高生やその保護者への科学技術系の進路に対する興味関心の理解を深める取組を推進するとともに、関係府省や産業界、学界、民間団体など産学官の連携を強化し、理工系分野での女性の活躍に関する社会一般からの理解の獲得を促進する。

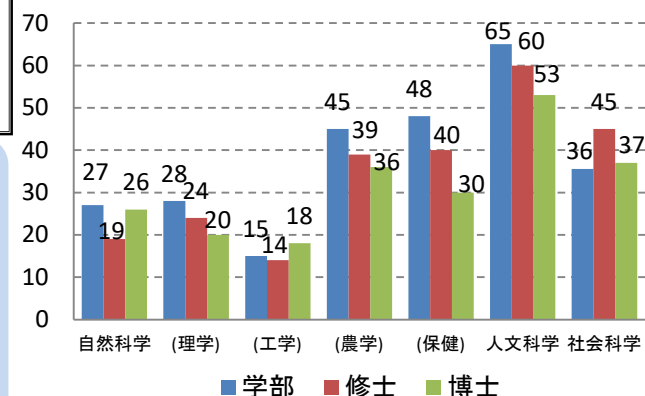
「第4次男女共同参画基本計画」(抄)(平成27年12月27日 閣議決定)

- ・大学、研究機関、学術団体、企業等の協力の下、女子児童・生徒、保護者及び教員に対し、理工系選択のメリットに関する意識啓発、理工系分野の仕事内容、働き方及び理工系出身者のキャリアに関する理解を促す。

「未来投資戦略2018 —「Society5.0」「データ駆動型社会」への変革—」(抄)(平成30年6月15日閣議決定)

- ・女子生徒等の理系分野への進路選択を促進し、AIを含む先端的な分野等における女性の活躍を推進するため、全国の地方公共団体・学校等における多様なロールモデルの提示、女子生徒を対象とした出前授業などの取組を行う。

(参考) 学部学生・院生に占める女性の割合(%)



事業概要

【事業の目的・目標】

- ・女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切に理系進路を選択することが可能となるよう、地域で継続的に行われる取組を推進。
- ・女子中高生の適切な進路選択を通じた、女性の多様な分野での活躍。
- ・科学技術分野での女性の活躍により、我が国の科学技術イノベーションを推進。

【事業スキーム】



- ✓ 採択期間: 2年間
- ✓ 実施規模: 17拠点程度の大学・高専等を含めた連携機関等 (うち令和3年度新規: 5拠点程度)
- ✓ 支援額上限: 1.5~3百万円/機関・年
- ✓ 対象: 女子中高生、保護者、教員
- ✓ 内容: シンポジウム開催、実験、出前講座、理系キャリア相談会等

プログラム実施例のイメージ図



<取組内容の特徴>

1. 事業運営の基盤を構築

産学官連携により、**女性の活躍に関する社会全体の理解を促進、多様なロールモデルを提示。**

2. 文理選択に迷う生徒の興味を喚起

シンポジウム・実験等に加え、**積極的な学校訪問**によるワークショップ等を実施。理系の進路選択に関心が薄い層や文理選択に迷う層に対する、興味関心の喚起。**幅広い視点からの進路選択**に寄与。

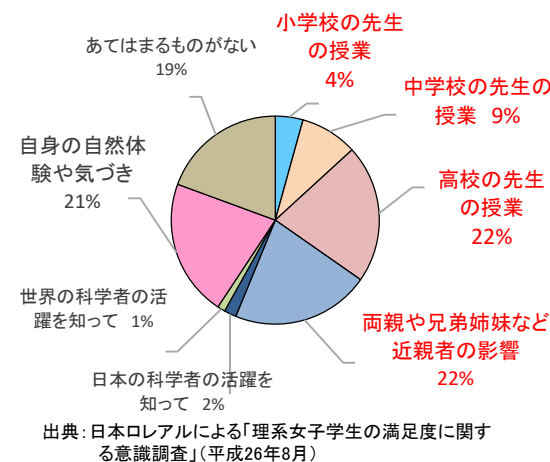
3. 保護者・教員等へのアプローチ

進路選択に大きな影響を与える保護者や教員向けの取組を積極的に実施し、**興味関心の早期定着**を図る。

4. 市区町村規模の設定

地域を絞った活動をすることで、**新たな機関の参加を促進**。市区町村教育委員会と連携し、**学校行事への活用や学校訪問機会の増加**。支援終了後も**規模を維持した事業継続**を目指す。

(参考) 女子学生が理系の進路を選択した理由



背景・課題

- 人口減少局面にある我が国において、研究者コミュニティの持続可能性を確保するとともに、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化していくためには、女性研究者の活躍促進が重要であるが、女性研究者割合を諸外国と比較すると依然として低い水準にあり、特に上位職に占める女性研究者の割合が低い状況。
- そのため、女性研究者が出産、育児等のライフイベントにかかわらず研究を継続できる環境の整備や、女性研究者の研究力向上を通じた上位職登用の促進が必要。

【統合イノベーション戦略2020 2020年7月17日 閣議決定】抜粋

○女性研究者の研究環境整備や研究力向上に取り組む機関の連携を図る全国ネットワークの構築や、博士後期課程へ進学する女子学生への支援の充実、海外事例の調査分析等を踏まえた女性研究者の支援方策の検討を行う。

事業概要

事業の目的・目標

- 研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援する

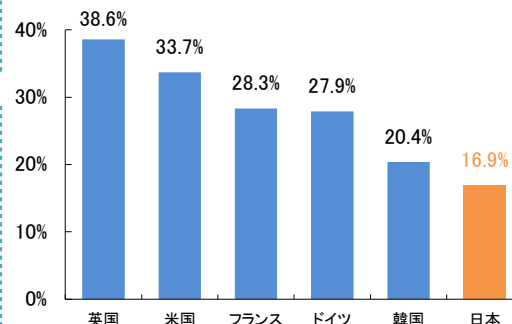
ダイバーシティ実現に向けた取組の支援

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 事業期間：6年間（うち補助期間3年間）
- 支援取組：
 - ①牽引型 複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組
 - ②先端型 女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用の一層の推進等の取組
 - ③特性対応型 分野や機関の研究特性や課題等に対応し、研究効率の向上を図りつつ、女性研究者の活躍を促進する取組
※博士後期課程学生の処遇の向上に資するフェローシップの取組を含む。
 - ④全国ネットワーク中核機関（群） 国内外の取組動向の調査や経験、知見の全国的な普及・展開を図るための全国ネットワークの構築を目指す取組
- 支援金額：40百万円程度/年・件〔23件程度（うち新規5件程度）〕

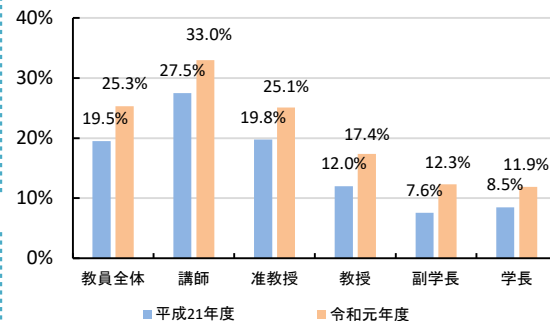
調査分析等の実施

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 事業期間：2年間
- 支援取組：女性研究者の活躍促進に資する海外の優れた取組に関する調査分析
- 支援金額：25百万円程度/年・件〔3件程度（うち新規2件程度）〕

■女性研究者割合の国際比較



■大学における職位別の女性教員の在籍割合



※学校基本統計等より作成

博士支援に関する政府の動向

「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」

令和2年1月23日

総合科学技術・イノベーション会議



令和2年1月23日

総合科学技術・イノベーション会議

研究力強化に求められる主な取り組み

博士後期課程学生の処遇の向上

【達成目標】

- 多様な財源を活用し、将来的に希望する博士後期課程学生が生活費相当額程度を受給できるよう、当面、修士課程からの進学者数の約5割※2に相当する学生が受給できることを目指す。(早期達成)

※ 第6期科学技術基本計画の検討に際し、最新のデータを踏まえて、検討。

※2 全博士後期課程学生（74,367人,2018）の10.4%が受給（2015）。修士課程からの進学者数（約30,000人,2018）の約5割が受給できる場合、全博士後期課程学生の2割程度に相当。

【主な施策】

- ・ 外部資金等の多様な財源による優秀な博士後期課程学生への学内奨学金・RA・特別研究員（DC）・海外研さん機会等の充実を促進（2019年度～）
- ・ 競争的研究費や共同研究費におけるRA等の適切な給与水準の確保の推進（2020年度～）
- ・ 国研における博士後期課程学生のRA等の採用を促進（2021年度～）
- ・ 博士後期課程学生等の挑戦を奨励するための新しい表彰制度の創設（2020年度）

産業界へのキャリアパス・流動の拡大等

【達成目標】

- 産業界による理工系博士号取得者の採用者数※3を約1,000名（約65%）増加（2025年度）

※ 施策としては理工系以外も含む。

※3 1,397人（2016）

【主な施策】

- ・ 博士課程学生の長期有給インターンシップの単位化・選択必修化の促進（2021年度～）
- ・ 国が率先して博士人材の待遇改善を検討（2019年度～）
- ・ 企業と大学による優秀な若手研究者の発掘（マッチング）の仕組みの創設により、企業での採用等を促進（2020年度～）
- ・ 大学等が出資する外部組織で共同研究等の実施を可能とする制度改正によって、オープンイノベーションを促進（2020年通常国会等）（再掲）
- ・ 中小企業技術革新制度（日本版SBIR制度）の改正により、イノベーション創出に向けて取り組むベンチャー等への支援を重点的に推進（2020年通常国会～）

博士支援に関する政府の動向



博士を目指す学生の皆さんへ

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大という誰も経験したことのない困難な状況が続いています。感染拡大防止のため、自由に大学を利用できず、思うように研究活動などが出来ない中、博士を目指す学生の皆さんが様々な工夫をしつつ研究に励まれてきたことに心から敬意を表します。

科学技術・イノベーションを担うのは「人」です。特に博士を目指す学生の皆さんは、将来、我が国を牽引する貴重な人材です。しかしながら、皆さんが経済的な面やキャリアパスへの不安から、博士課程への進学を断念する、あるいは研究活動にじっくりと打ち込めないという問題を抱え、新型コロナウイルスの感染拡大がさらに追い打ちをかけているこの状況は、看過できない深刻な問題だと考えています。

欧米では、博士課程学生の研究に支障の無いよう奨学金等が支援されています。我が国でも、世界レベルの研究基盤を構築する大学ファンドに先駆ける形で、博士を目指す皆さんへの経済的支援を拡大します。具体的には、自由で挑戦的・融合的な研究を推進する大学への支援等を通じて、より多くの博士課程学生の方々に、研究費や生活費相当額を支給することを予定しています。

これらの取組を通じて、「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」の目標値である約 15,000 人への支援の達成を目指します。また、高等教育、科学技術及び産業政策の全体を見渡して、RA（リサーチ・アシスタント）支援の促進など総合的な施策を講ずることにより、大学院生への一貫した切れ目のない支援をしっかりと行います。

ぜひともじっくりと腰を据えて、思う存分研究に打ち込んでください。

これから我が国を背負って立つ皆さんが、経済的な不安を抱えず安心して博士課程へ進学できるよう、これまで以上に強力で博士課程の学生の皆さんを支えてまいります。そして、イノベーションの創出に向けて、博士が大きく活躍できる社会の実現に向けて最大限取り組んでいきます。

令和 2 年 12 月 15 日
文部科学大臣 萩生田 光一



[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [科学技術・イノベーション](#) > [新着情報一覧](#) > 日本の未来を担う研究者の皆さまへ

日本の未来を担う研究者の皆さまへ

今、日本は、激動の転換期にいます。これまで経験したことがない新型コロナウイルス感染症の拡大やそれに伴うデジタル化などの生活の変化に加え、世界に目を転じる中米をはじめとした国家間の覇権争いの激化や気候変動などの地球規模の課題に直面しています。

このような中、日本が社会変革を先導し、持続的に成長していくためには、新しい知に基づく価値を次々に産み出していくことが不可欠であり、研究者、とりわけ若い方が、既成概念を打ち破り、自らの自由な発想に基づき、腰を据えて研究に没頭する環境を作ることが何よりも重要です。

しかしながら、博士課程学生や若手研究者を取り巻く環境は厳しく、特に、優秀な学生が、経済的側面やキャリアパスへの不安などの理由から博士後期課程への進学を断念する状況は、大変深刻です。

こうした状況を打破し、大学の研究環境を抜本的に強化するため、政府は、
●学術研究・基礎研究の分野に、これまでにない手法により「人材」、「研究開発を行う大学の共用施設やデータ連携基盤の整備」などへの大胆な投資を実施するために、10兆円規模の大学ファンドを創設すること

●大学ファンドによる支援に先駆ける形で15,000人規模の博士学生への経済支援を実現するための支援を行うことを決定しました。

加えて、競争的研究費の各種事務手続きの簡素化・デジタル化など事務負担を軽減させる取組を本年度内に推進し、来年度以降に実施する事業から適用できるようにすることで、研究者の皆さまの研究時間をより多く確保いたします。

これらの取組を通じて、より多くの学生が博士課程への進学に挑戦するとともに、若手研究者が腰を据えて自由な発想に基づく研究に打ち込むことができる環境の構築に向け、引き続き尽力してまいります。

日本の科学技術・イノベーションの源は、若手を含む研究者の皆さまです。新たな知を産み出す研究者の活躍がなければ日本の未来はありません。未来を担う皆さまが、研究の道に飛び込み、存分に研究活動を行っていただくことを願って止みません。

令和2年12月15日
内閣府特命担当大臣（科学技術政策） 井上 信治

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20201215.html>

データで見る博士人材の価値

- ✓ 採用時に求める全ての能力・資質について採用後の印象をたずねた調査結果によると、学士号取得者・修士号取得者に比べ、博士課程修了者が「期待通り」や「期待を上回った」と答える割合は高く、さらに、「期待を下回った」と答えた企業の割合は小さい。

— 期待を上回った — ほぼ期待通り — 期待を下回った

A. 学士号取得者



B. 修士号取得者



C. 博士号取得者

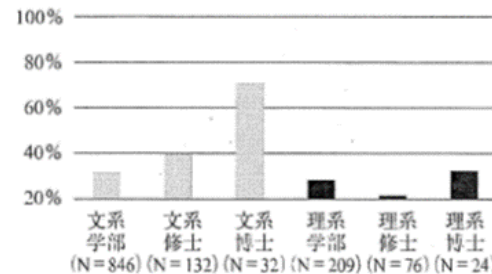


【出典】民間企業における博士の採用と活用 — 製造業の研究開発部門を中心とするインタビューからの示唆 — （2014年12月）科学技術・学術政策研究所 DISCUSSION PAPER No. 111

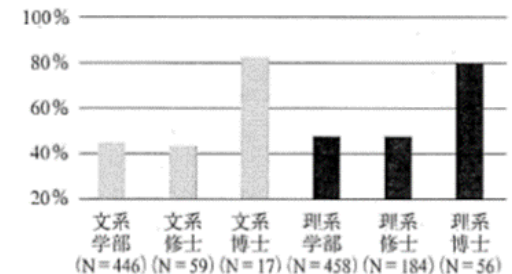
- ✓ 社会の大学院を見る目に着目した検討結果として、事業のグローバル展開のなかで学歴格差に直面する経験、大学院生の面接経験、あるいは評価者本人の大学時代における学習経験が乏しければ、人材としての大学院生の価値に気づくことは難しいこと等が指摘されている。

採用担当者の最終学歴が高いほど、
文系・理系博士を雇いたいと考える
割合が高まる

文系博士＝事務系総合職として雇いたい人が
多いと回答した者の比率



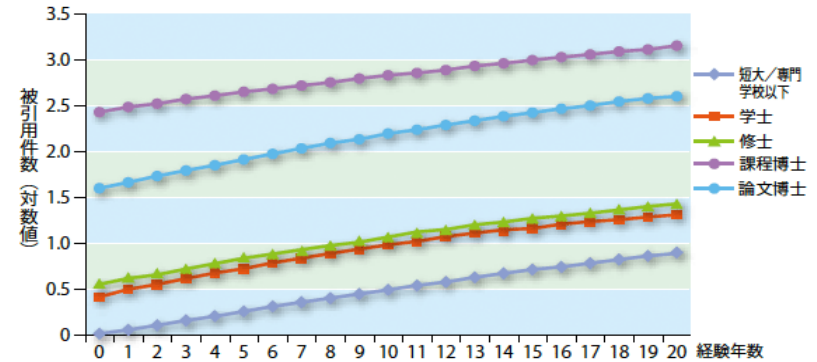
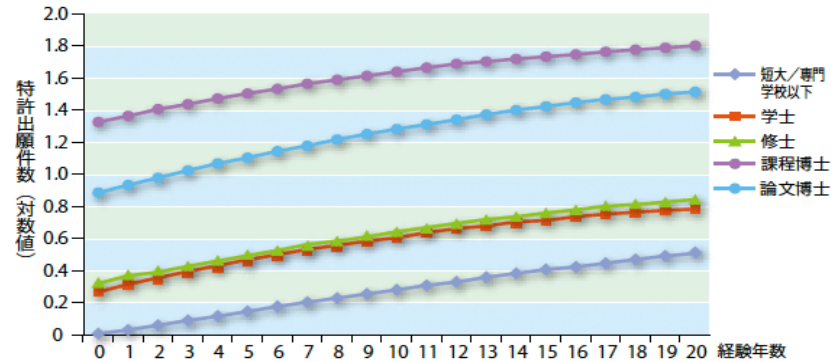
理系博士＝技術系総合職として雇いたい人が
多いと回答した者の比率



【出典】『大学院改革の隘路 批判の背後にある企業人の未経験』（濱中淳子 2015年）

データで見る博士人材の価値

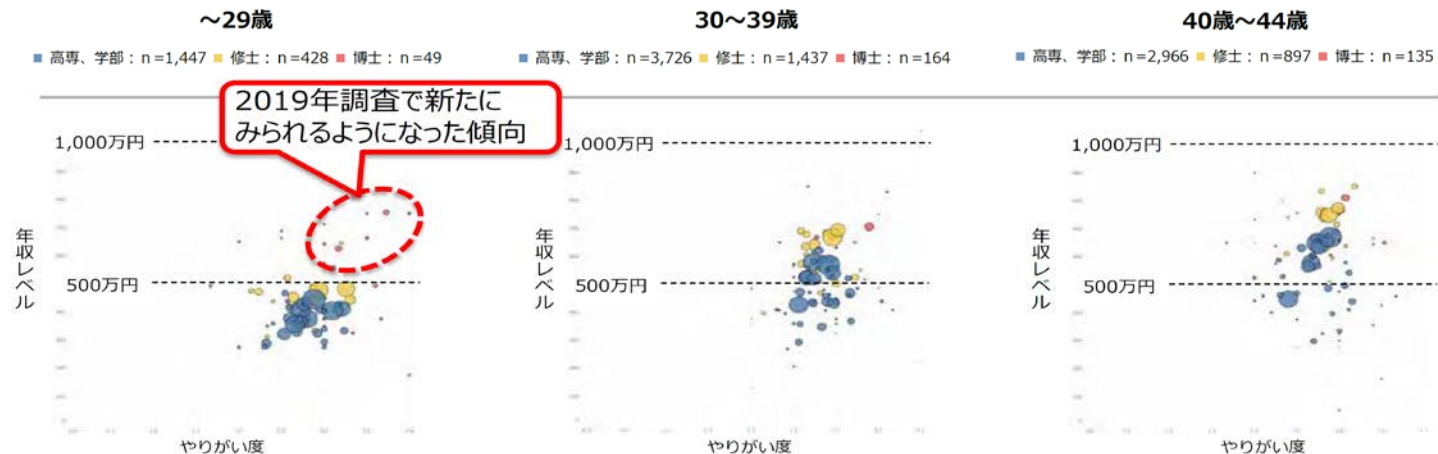
- ✓ 課程・論文博士取得者の発明生産性は、発明開始年齢の遅れを考慮したとしても、特許出願件数、被引用件数の両面で学士・修士卒と比べて有意に高い。



【出典】企業内研究者のライフサイクル発明生産性(大西 宏一郎/長岡 貞男 2012年)

- ✓ いずれの職種においても、業務との関連度、やりがい、年収は、概ね、高専・学士<修士<博士の傾向。とりわけ20代の技術系研究職においては、近年博士の年収レベルが大幅に上昇。

最終学歴と仕事のやりがい、年収レベルの関係性（技術系：最終学歴×年齢）



【出典】人材育成に係る産業界ニーズの見える化(内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション)付 参事官(エビデンス担当)2020年8月)

AirBridgeについて

ガツガツ若手ワーキンググループ「AirBridge」

若手有志によるワーキンググループ「AirBridge」を新たに設立（昨年10月）。物理的な距離を越えた**現場との相互交流の場を形成**しつつ、**特に、博士課程学生を中心とした研究現場（研究室環境等）の実態**や 課題について議論し、当事者の目線に立った施策の検討や対外発信に繋げるための活動を実施。

AirBridge



オンラインワークショップの企画
意見交換・アンケート調査等

若手の関係者がオンラインで集う場

若手研究者

大学関係者

民間実務経験者

大学院生等

若手官僚

学会等

大学

民間

検討事項（例）

- 研究室教育（研究指導・研究室運営）の質保証・向上
- 研究室選びのあり方、教員と学生のミスマッチの軽減
- 距離を超えた大学院生等の横のつながりの構築・心理的安全性の確保（人文・社会系や社会人博士等を含む）
- 博士進学や博士人材に関する情報発信のあり方及び固定観念の打破（博士が社会で使えないのではなく、博士を使いこなせない社会なのでは？）

※検討に当たっては、博士課程出身者を含む若手職員等が身近に肌で感じてきた問題を、現役大学院生等とのワークショップやヒアリングを通じて議論し、タブーも含めた現場のリアルを定性的に収集しつつ、得られた知見を基にアンケート等による定量化や、政策への反映、対外発信等を目指す。

AirBridgeへの参画状況

- ✓ AirBridgeメールリストへの登録者数：1,371名（2月25日時点）
- ✓ Facebookグループへの登録者数：378名（2月25日時点）

＜ワークショップの開催＞

AirBridgeワークショップ

令和2年12月12日（土）
@オンライン開催

博士課程からの寄り道・巣立ち
～固定観念や苦い記憶を乗り越えて～



問題提起・施策形成に向けた活動

＜審議会での口頭発表＞

- 第98回 中央教育審議会 大学分科会 大学院部会（令和2年9月）
- 第157回 中央教育審議会 大学分科会（令和2年11月）
- 第158回 中央教育審議会 大学分科会（令和3年1月）

＜シンポジウム等での講演＞

The Biophysical Society
of Japan

第58回 日本生物物理学会 年会
2020年9月18日（金）12:00～13:30

男女共同参画・若手支援委員会企画シンポジウム

今だから、今こそ、今なら言いたい、「博士を取ろう！」

シンポジスト

上村 みどり（帝人ファーマ 生物医学総合研究所）
池田 宗太郎（文部科学省 研究振興局 基礎研究振興課）
落合 隆一（筑波大学／ビシニダストテクノロジーズ）

進行

大上 穂史（東京工業大学／日本生物物理学会 男女共同参画・若手支援委員会）



AirBridge参加者構成

メーリス参加者(2021年2月25日現在)：1,371名

ワークショップやアンケートのご案内等、
文科省メンバーから参加者への情報発信に活用

🔴 会社員

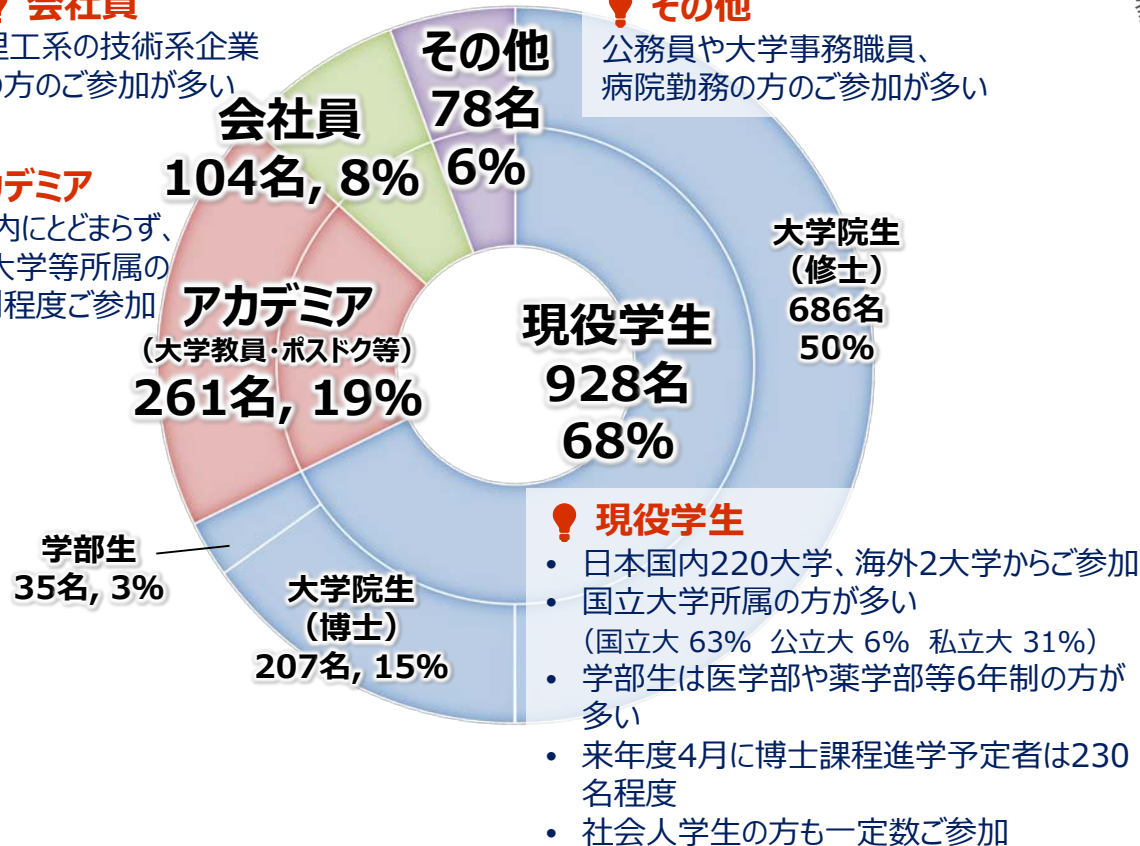
理工系の技術系企業
の方のご参加が多い

🔴 その他

公務員や大学事務職員、
病院勤務の方のご参加が多い

🔴 アカデミア

日本国内にとどまらず、
海外の大学等所属の
方が1割程度ご参加

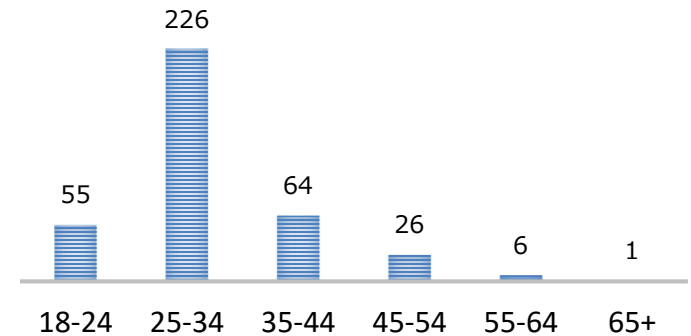


Facebookグループ

参加者(2021年2月25日現在)：378名

文科省メンバーに限らず、
参加者同士の情報交換の場として活用

Facebook グループ参加者の年齢層



参加者は随時募集中です。

【メーリス登録】

<https://pf.mext.go.jp/admission/13173-2-2.html>

【Facebook登録】

<https://www.facebook.com/groups/airbridge/?ref=share>

【問い合わせ先】airbridge@mext.go.jp

注) メーリスとFacebook両方参加の方が多くいらっしゃるため、人数には重複があります。

博士課程学生を取り巻く「第3の課題」



お金がない
(経済的支援の不足)



職がない
(キャリアパス・給与問題)



その他
(環境・精神面の問題等)

これまでの議論・検討の中心

金、職の問題については、これまで長きにわたり議論されてきた。
いずれも非常に重要な観点であり、現在も各方面で検討や施策が進行中だが、
考慮すべき問題はそれだけか？

現場でしか見えない“リアルな姿”

#先輩・上司の姿 #研究指導 #人間関係
#アカハラ・パワハラ 等のソフト的な要素
(定量化しづらく、多種多様で検討の俎上に上がりにくい)

- 学生が博士課程に進む最大の理由は「研究活動への意欲」
- 意欲ある学生は先輩や上司の姿を通じて、研究現場のリアルな実態を見ながら進学を判断しているのではないか

“自分の身の回りでは何人か博士課程を中途退学した先輩を知っているが、(中略) 短期的な問題、例えば研究進捗が得られず博士号の取得が期待できない、人間関係にトラブルを抱えた、博士課程の精神的な辛さに耐えられなかったなどの原因が主要なように感じられる。” (博士/物理・数学)

【出典】博士のおかれる厳しい環境と希望アンケート (2019年12月) 株式会社POL に寄せられた意見より抜粋

経済的支援や就職口の確保に加えて、実際の大学院生が見ている世界(タブーも含めた現場のリアル)に根差した課題を解決していかなければ、進学後に不幸が待ち受けている可能性

博士支援・AirBridgeに係る各種報道

大学ジャーナル

UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE

トピックス コラム 研究成果 地方

TOP > トピックス > 文部科学省の若手職員、博士課程の課題探る作業グループ設立

2020年11月13日

文部科学省の若手職員、博士課程の課題探る作業グループ設立

文部科学省 中央教育審議会 博士人材 博士課程

Twitter Facebook B! YouTube

文部科学省の若手職員で構成する「科学技術ワクワク挑戦チーム」が博士課程の課題と対策を検討する作業グループを設けたことが、オンライン会議で開かれた中央教育審議会大学分科会に報告された。

<https://univ-journal.jp/63321/>

NHK おうちで学ぼう！
for School

NEWS WEB



博士課程学生支援 約7000人対象 1人年間290万円ほど支給へ

2020年12月20日 17時49分 教育

博士号の取得を目指す学生への経済的な支援を拡充するため、文部科学省は1人当たり年間290万円ほどを支給する取り組みを始めることになりました。博士課程の経済的な支援としてはこれまでにない規模になるということです。

若手官僚たちが議論の場立ち上げ

若手研究者への支援が喫緊の課題となる中、みずからも大学院などで厳しい研究環境を経験した若手官僚たちが現役の学生たちから声を聞くグループを私的に立ち上げ、議論を始めています。

グループは文部科学省の20代から30代の若手官僚がことし10月に立ち上げたもので、現役の大学生や大学院生などにSNSで呼びかけたところ、すでに全国から1000人以上がメーリングリストに加わっているといいます。

先週、オンライン上でワークショップが開かれ、参加した学生など32人が自分が置かれた立場を語りながら議論しました。

神経科学分野で研究する学生は「教員の研究指導が適切に行われていないことで、多くの学生が博士課程での研究を諦めてしまっている。学生のキャリアパスや処遇を真剣に考えてくれる教員は少ない」と話し、有機化学分野で研究する学生は「純粋に自分の研究を続けたい人が博士課程に進まなくなってしまう」といった声が寄せられていました。

議論の中では、すでに政策の柱となっている経済的支援の不足や就職先がないといった問題に加え、研究室内での人間関係や指導方法など環境面の課題も多く指摘されていました。

主催したメンバーで文部科学省基礎研究振興課の池田宗太郎さん（29）は「私自身博士課程までいったが途中で退学した。学生たちを取り巻く事情はさまざまだが、研究が好きで進学したことは共通しているので、しっかり学生の声を聞き、行政との懸け橋になりたい」と話していました。

また、高等教育企画課の遠藤佑さん（27）は「まずは若手研究者の声を吸い上げ、本当にすべき支援を考えていきたい。自分の好きな研究を自由にでき、そして社会に還元できるような政策に生かしていく必要がある」と話していました。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201220/k10012774591000.html>



令和2年12月20日放送 NHK NEWS7

問合せ先

○内閣府

(夏のリコチャレ全般、イベント登録・掲載、リコチャレツール等)

内閣府男女共同参画局 推進課 福田、市川、長谷川、島

TEL : 03-6257-1181

MAIL : g.riko-challe@cao.go.jp

○文部科学省

(各都道府県教育委員会への周知、土曜学習応援団等)

文部科学省 総合教育政策局

男女共同参画共生社会学習・安全課 柴田、吉永

TEL : 03-5253-4111 (内線 : 3268、3073)

MAIL : danjo@mext.go.jp